



## 2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月5日

上場会社名 丸大食品株式会社  
 コード番号 2288 URL <http://www.marudai.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月12日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 井上 俊春  
 (氏名) 加藤 伸佳  
 TEL 072-661-2518

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	58,293	5.0	201		130		240	
2020年3月期第1四半期	61,393	4.5	1,431	177.0	1,568	164.6	1,119	276.3

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 310百万円 ( 25.4%) 2020年3月期第1四半期 416百万円 ( 44.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	9.44	
2020年3月期第1四半期	44.00	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	135,438	74,473	54.6	2,907.14
2020年3月期	131,854	75,056	56.5	2,930.66

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 73,912百万円 2020年3月期 74,510百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期				35.00	35.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	115,000	7.8	600		350		600		23.60
通期	240,000	2.4	1,200	54.1	1,600	48.7	500	69.8	19.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	26,505,581 株	2020年3月期	26,505,581 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	1,081,272 株	2020年3月期	1,081,261 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	25,424,311 株	2020年3月期1Q	25,434,943 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、極めて厳しい状況にあります。個人消費におきましては、緊急事態宣言の解除に伴い、このところ持ち直しの動きが見られますが、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていくなかで、国内外の感染症の動向に左右される先行きが不透明な状況が続いております。

当業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い発令された緊急事態宣言や外出自粛要請により、自宅で過ごす時間が多くなり、いわゆる「巣ごもり需要（消費）」による自宅での内食や中食需要が高まりました。一方で、主に外食産業や都市部のコンビニエンスストア向け商品、一部の業務用食材の売上高は減少し、宣言解除後もお客様の節約志向による価格競争激化や物流コストの上昇など非常に厳しい環境が続いております。また、外出自粛要請により国内での需要減少などから国産牛肉の相場が下落しました。国産豚肉は輸入豚肉の供給減少や内食需要の影響もあり相場上昇が見られる一方で、海外調達先の生産停滞の影響を受け輸入牛肉・輸入豚肉ともに相場が不安定に推移していることから、コスト面にも大きく影響する予断を許さない環境が続いております。

このような厳しい状況のなか、当社グループは、お客様に、より安全でより安心して召し上がっていただける食品を提供する総合食品メーカーとして、真に社会的存在価値が認められる企業を目指し、企業活動を推進してまいりました。

当第1四半期連結累計期間における売上高は前年同期比5.0%減の582億93百万円、営業損失は2億1百万円（前年同期は営業利益14億31百万円）、経常損失は1億30百万円（前年同期は経常利益15億68百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は2億40百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益11億19百万円）となりました。

セグメント別の業績の概況は、次のとおりであります。

## 【セグメント別業績】

(単位：百万円)

	売上高（注）			セグメント利益又は損失（△）		
	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)
加工食品事業	42,290	40,002	△2,287 (△5.4%)	1,077	△309	△1,387 (-)
食肉事業	19,067	18,251	△816 (△4.3%)	343	93	△249 (△72.7%)
その他	35	39	3 (11.3%)	10	14	3 (31.9%)
合計	61,393	58,293	△3,100 (△5.0%)	1,431	△201	△1,633 (-)

(注) 売上高には、セグメント間の内部売上高は含まれておりません。

## 【加工食品事業 売上高内訳】

(単位：百万円)

	売上高		
	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)
ハム・ソーセージ	18,728	19,268	539 (2.9%)
調理加工食品	23,561	20,734	△2,827 (△12.0%)

## ① 加工食品事業

ハム・ソーセージ部門では、「燻製屋熟成あらびきポークウインナー」などの主力商品を中心に、「がんばろう日本！応援キャンペーン」の販売促進を実施し、食を通じて日本全国の食卓を応援する取り組みなどに努め、売場の活性化を図りました。また、新型コロナウイルス感染症の影響により一部の業務用食材は低調となりましたが、学校休校や外出自粛要請により「巣ごもり需要（消費）」が高まったことなどから、家庭用の即食・簡便ニーズにあった商品などが堅調に推移しました。以上のことから、当部門の売上高は前年同期比2.9%の増収となりました。

調理加工食品部門では、自宅での内食や中食需要の高まりなどから、「ビストロ倶楽部ビーフカレー」シリーズなどのレトルトカレー商品の売上高が伸長したほか、「スンドゥブ」シリーズ、「サラダチキン」シリーズも堅調に推移しました。一方で、緊急事態宣言による外出自粛要請や在宅勤務などの影響を受け、都市部を中心としたコンビニエンスストア向け商品の売上高が落ち込み、競合他社参入も重なったブラックタピオカ入り飲料などの飲料類売上高が大きく減少したことなどから、当部門の売上高は前年同期比12.0%の減収となりました。

以上の結果、加工食品事業の売上高は前年同期比5.4%減の400億2百万円となりました。セグメント利益は、調理加工食品部門の減収や競争激化による低価格化、原材料価格の上昇などから、前年同期を大きく下回り3億9百万円の損失となりました。

## ② 食肉事業

牛肉につきましては、国産牛肉の売上高はやや減少し、輸入牛肉は外食産業需要の落ち込みや販売単価下落の影響などから売上高は前年を下回りました。豚肉につきましては、国産豚肉は相場上昇から若干売上高が増加しましたが、輸入豚肉は現地の生産が停滞した影響により販売数量が減少し、豚肉全体の売上高は前年を下回りました。鶏肉につきましては、輸入品の国内在庫量が増加し販売単価を大きく低下させたことにより売上高は減少しました。

以上の結果、食肉事業の売上高は前年同期比4.3%減の182億51百万円となりました。セグメント利益は、外食産業需要の落ち込みによる減収などから、前年同期比72.7%減の93百万円となりました。

## ③ その他事業

その他事業の売上高は前年同期比11.3%増の39百万円、セグメント利益は前年同期比31.9%増の14百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## 〔連結財政状態〕

(単位：百万円)

	前連結会計年度末	当第1四半期 連結会計期間末	増減額
総資産	131,854	135,438	3,583
負債	56,798	60,965	4,166
純資産	75,056	74,473	△583
自己資本比率	56.5%	54.6%	△1.9%

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、たな卸資産が27億98百万円増加、投資有価証券が7億円増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ35億83百万円増加し、1,354億38百万円となりました。

負債は、有利子負債が28億36百万円増加、支払手形及び買掛金が14億96百万円増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ41億66百万円増加し、609億65百万円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金4億83百万円の増加がありましたが、剰余金8億89百万円の配当や親会社株主に帰属する四半期純損失2億40百万円の計上などから、前連結会計年度末に比べ5億83百万円減少し、744億73百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末から1.9%低下し、54.6%となりました。

## 〔連結キャッシュ・フローの状況〕

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,372	286	△1,086
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,924	△1,709	215
財務活動によるキャッシュ・フロー	647	1,702	1,055
現金及び現金同等物の増減額	95	279	184
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,222	8,523	301

営業活動によるキャッシュ・フローは、運転資金の増加による減少要因がありましたが、減価償却費の計上などから、2億86百万円増加しました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の売却による収入がありましたが、生産設備の増強・合理化や品質向上のための固定資産の取得による支出などから、17億9百万円減少しました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払いがありましたが、有利子負債の増加などから、17億2百万円増加しました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の四半期末残高は、前連結会計年度末から2億79百万円増加し、85億23百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の現時点における影響を踏まえ、2020年5月20日に公表いたしました2021年3月期第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想を修正しております。詳細については、本日(2020年8月5日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,244	8,523
受取手形及び売掛金	27,501	27,720
商品及び製品	11,057	12,416
仕掛品	647	609
原材料及び貯蔵品	5,887	7,364
その他	2,274	1,943
貸倒引当金	△15	△15
流動資産合計	55,597	58,562
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	54,258	54,766
減価償却累計額	△37,644	△37,625
建物及び構築物 (純額)	16,613	17,141
機械装置及び運搬具	62,664	64,613
減価償却累計額	△48,118	△48,851
機械装置及び運搬具 (純額)	14,545	15,761
工具、器具及び備品	4,718	4,656
減価償却累計額	△3,154	△3,087
工具、器具及び備品 (純額)	1,563	1,569
土地	18,392	18,067
リース資産	7,879	8,144
減価償却累計額	△2,467	△2,669
リース資産 (純額)	5,411	5,474
建設仮勘定	2,545	573
有形固定資産合計	59,072	58,588
無形固定資産		
投資その他の資産	3,050	3,000
投資有価証券	10,282	10,983
関係会社株式	121	128
長期貸付金	22	20
退職給付に係る資産	71	187
繰延税金資産	277	325
その他	3,474	3,759
貸倒引当金	△117	△118
投資その他の資産合計	14,133	15,287
固定資産合計	76,256	76,875
資産合計	131,854	135,438

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,165	24,662
短期借入金	8,080	8,582
1年内返済予定の長期借入金	1,887	2,438
リース債務	855	860
未払金	8,942	8,280
未払法人税等	523	148
未払消費税等	448	227
賞与引当金	850	1,431
その他	1,391	1,781
流動負債合計	46,145	48,412
固定負債		
長期借入金	3,933	5,643
リース債務	4,658	4,727
繰延税金負債	550	656
退職給付に係る負債	854	860
その他	656	664
固定負債合計	10,652	12,552
負債合計	56,798	60,965
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,716	6,716
資本剰余金	22,086	22,086
利益剰余金	45,676	44,546
自己株式	△2,657	△2,657
株主資本合計	71,821	70,691
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,832	4,315
繰延ヘッジ損益	△2	2
為替換算調整勘定	40	30
退職給付に係る調整累計額	△1,181	△1,128
その他の包括利益累計額合計	2,688	3,220
非支配株主持分	545	561
純資産合計	75,056	74,473
負債純資産合計	131,854	135,438



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	61,393	58,293
売上原価	47,170	46,269
売上総利益	14,223	12,023
販売費及び一般管理費	12,791	12,224
営業利益又は営業損失(△)	1,431	△201
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	8	4
不動産賃貸料	40	39
保険配当金	35	28
その他	136	82
営業外収益合計	225	159
営業外費用		
支払利息	54	56
その他	34	31
営業外費用合計	88	87
経常利益又は経常損失(△)	1,568	△130
特別利益		
固定資産処分益	124	21
特別利益合計	124	21
特別損失		
固定資産処分損	45	38
減損損失	—	34
特別損失合計	45	73
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	1,647	△182
法人税、住民税及び事業税	776	206
法人税等調整額	△262	△168
法人税等合計	514	38
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,133	△221
非支配株主に帰属する四半期純利益	14	19
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,119	△240

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,133	△221
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△720	483
繰延ヘッジ損益	△22	5
退職給付に係る調整額	25	53
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△10
その他の包括利益合計	△716	531
四半期包括利益	416	310
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	402	291
非支配株主に係る四半期包括利益	14	19

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益 又は税金等調整前四半期純損失 (△)	1,647	△182
減価償却費	1,511	1,784
減損損失	—	34
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	8	1
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△93	△38
受取利息及び受取配当金	△12	△8
支払利息	54	56
固定資産処分損益 (△は益)	△78	17
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,716	△222
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,437	△2,806
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,318	1,512
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△97	△220
未払金の増減額 (△は減少)	1,223	△148
その他	475	764
小計	1,802	543
利息及び配当金の受取額	168	165
利息の支払額	△45	△47
法人税等の支払額	△370	△283
特別退職金の支払額	△181	△90
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,372	286
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△10	△10
固定資産の取得による支出	△2,019	△1,796
固定資産の売却による収入	210	121
その他	△105	△22
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,924	△1,709
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,920	502
長期借入れによる収入	—	2,440
長期借入金の返済による支出	△195	△179
リース債務の返済による支出	△235	△213
配当金の支払額	△837	△841
その他	△4	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	647	1,702
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	95	279
現金及び現金同等物の期首残高	8,127	8,244
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,222	8,523

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	加工食品 事業	食肉事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	42,290	19,067	61,358	35	61,393	—	61,393
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	171	171	△171	—
計	42,290	19,067	61,358	207	61,565	△171	61,393
セグメント利益	1,077	343	1,420	10	1,431	—	1,431

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代行事業等を含んでおりません。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	加工食品 事業	食肉事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	40,002	18,251	58,253	39	58,293	—	58,293
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	180	180	△180	—
計	40,002	18,251	58,253	219	58,473	△180	58,293
セグメント利益又は損失 (△)	△309	93	△215	14	△201	—	△201

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代行事業等を含んでおりません。

2 セグメントの利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各セグメントに帰属しない賃貸等不動産について、回収可能価額の低下に伴う減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては34百万円であります。

## (重要な後発事象)

## 取得による企業結合

当社は、2020年5月12日にトーラク株式会社の株式譲渡契約を締結し、2020年7月1日付で当該株式を取得し、子会社化いたしました。

## (1) 企業結合の概要

## ① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称	トーラク株式会社
事業の内容	乳加工食品の製造販売

## ② 企業結合を行った主な理由

神戸を代表するお土産の一つである「神戸プリン」や、ホイップ済みクリームとしてトップシェアを誇る「らくらくホイップ」など、知名度の高いブランドや商品を保有するトーラク株式会社が当社グループに加わるにより、デザート類の更なる拡大を図るため。

## ③ 企業結合日

2020年7月1日

## ④ 企業結合の法的形式

株式取得

## ⑤ 結合後企業の名称

トーラク株式会社

## ⑥ 取得した議決権比率

100%

## ⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したためであります。

## (2) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	1,200 百万円
取得原価		1,200 百万円

## (3) 主要な取得関連費用の内容及び金額

現時点では確定しておりません。

## (4) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

## (5) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。